

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
 担当課長名：東 智徳

事業名	かんじょうだいごのいちごうせん じんぐうまえ 環状第5の1号線（神宮前）	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	とうきょうとしがやくじんぐうまえろくちょうめ 自：東京都渋谷区神宮前六丁目 とうきょうとしがやくじんぐうまえよんちょうめ 至：東京都渋谷区神宮前四丁目			延長	0.6 km

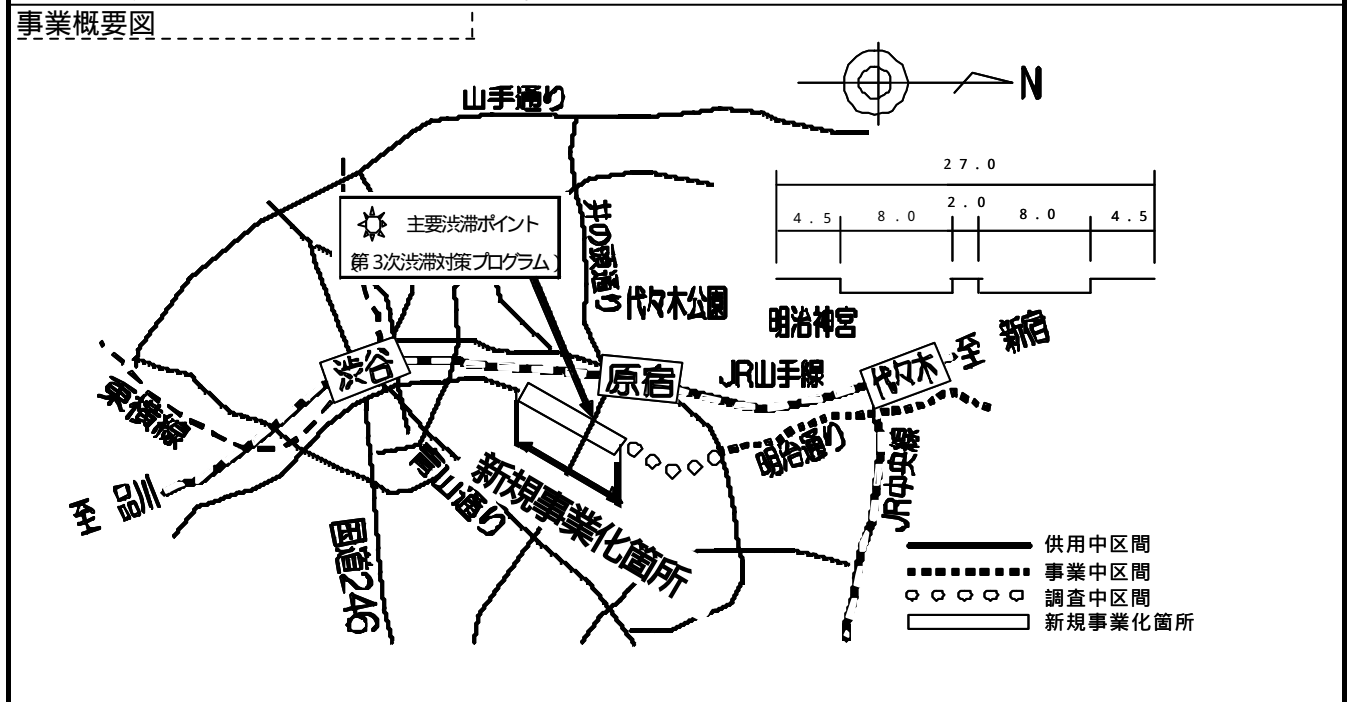
事業概要
 本事業は、渋谷区恵比寿二丁目を起点として、北区滝野川二丁目に至る全長1.4 kmのうち、渋谷区神宮前六丁目から同区神宮前四丁目までの延長0.6 kmについて、現道約2.2 mから都市計画道路幅員2.7 m～3.0 mへ拡幅改良するものである。

事業の目的、必要性
 本区間は、都市の骨格を形成する重要な環状方向の幹線道路であり、渋谷・新宿・池袋という3つの副都心を結ぶ都内で最も重要な路線の一つである環状第5の1号線の一部でもある。また、渋滞解消だけでなく、都市再生を進める上でも、整備が必要である。

全体事業費	80億円		計画交通量	45,000台/日
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	2.8	6.8億円 （事業費：67.5億円 維持管理費：0.7億円）	1.88億円 （走行時間短縮便益：185.0億円 走行費用減少便益：0.0億円 交通事故減少便益：3.2億円）	平成15年

事業の効果等
 ・都市再生（渋谷・新宿・池袋の3副都心を結ぶ重要な幹線道路である明治通りの渋滞を解消することで副都心の都市再生を支援する事業である。）
 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20 km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。）

関係する地方公共団体等の意見
 本路線は、渋谷・新宿・池袋という3つの副都心を結ぶ骨格幹線道路であり、営団地下鉄13号線の導入空間としての機能を持っている。営団地下鉄13号線は、平成19年度の開業予定であり、施行が始まっている。これに合わせて、本路線を拡幅整備するよう、渋谷区長をはじめ、地元から要望がだされている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。